

消費生活センター だより



町田市消費生活センター消費生活月間講演会
楽しく育てておいしく食べよう！

— 藤田先生に聞く家庭菜園のイロハ —
恵泉女学園大学人間社会学部現代社会学科教授 藤田智氏

11月は町田市消費者月間です。その企画の一つとして、11月17日(月)、市民フオーラムホールにて、右記講演会を実施しました。

講師の藤田智氏はNHK「趣味の園芸やさいの時間」、日本テレビ「世界一受けたい授業」に出演するなど、メディアでも活躍されています。

女子大学で野菜を育てる

大学の授業で野菜作りをしています。四季を感じることで、自然との共生、食料を得ることの大変さを学ぶことができます。学生は、初めて作ったキュウリを手にして「私が育てた最初の命」と言い、野菜の甘みに感動していました。持ち帰った野菜から、父親とコミュニケーションが生まれましたと話す学生もいました。

野菜あれこれ

・ジャガイモ
たねいもの半分に切った

ところに灰をつけることがあるが、灰は傷を封じるためのもので、切り口が乾いてればつけなくてよい。花は取った方が収穫量はあがるが、取らなくてもある程度収穫できる。

・キャベツ

キャベツは玉になって、中に光があたらないので甘くなる。玉にならないキャベツはケールと言ひ、苦くて青汁の原料になる。

・タマネギ

ネギ坊主ができなくて、葉が倒れると成功。7〜8mmの太さの苗を植えるとうまくいく。

・ダイコン

今はほとんどが青首ダイコン。どこを切っても同じ太さなので、コンビニのおでんなどで重宝されているが、他にも日本には三浦ダイコン、桜島ダイコン、ラディッシュなど、たくさんの種類のダイコンがある。その土地の農産

物を大事にしてほしい。

・大豆

植えて1週間でモヤシ、85日で枝豆、100日で大豆になる。豆の仲間の根には根粒菌がつき、窒素を豆に送っている。

・トマト

大きな苗で、花を通路に向けて植えると管理しやすい。ミニトマトはあまり失敗しない。ミニトマトは35〜40日、中玉は45〜50日、大玉は55〜60日で収穫できる。わき芽を取って1本仕立てにする。2、3本仕立てにするときは、肥料を多めにやる。

・収穫量について

ミニトマトは100〜120個、トマトは15〜20個、ナスは20〜30個、ピーマンは50〜60個取れたら、合格。

「地産地消」は「地産地消」

「地産地消」は韓国で言うところの「身土不二(あなたと自分の体と生まれ育った土地は二つではない、一つである)」と同じです。地元でとれたものを消費することにはたくさんさんのメリットがあります。農産物直売所では、目の前で収穫した野菜が売られていることを経験し、生産者は自信をもって作ることができ

ます。消費者は生産者の顔がわかり、安心して買うことができます。また、地域ブランド野菜を使った町おこしなど、各地でさまざまな取り組みが行われています。

「桃太郎」の話の続き

桃太郎が鬼ヶ島より宝を持ち帰って村は裕福になったため、村の人は誰も働かなくなりました。これではダメだと思った桃太郎が宝を鬼ヶ島に返しに行くと、鬼たちは働き者になっていました。汗を流し、貧しくても、いきいきとしていました。鬼たちに宝を返そうとしましたが、「私たちは働く喜びを知ったので、宝はいりません」と断られました。

大地を耕すことは、人の心を耕すことです。日本の未来が正しい方向へ行くためには、若い世代に植物を栽培させ、身を粉にして働くことの大切さと厳しさを通して理解させることが大切です。

ユーモアを交えたお話で、あつという間の2時間でした。自然と共生していくことの大切さを改めて感じました。

(文責 広報部)

クリーニング店トラブル

きれいになるはずが…

衣類などを家庭で洗濯することが難しい場合、クリーニング店に頼むこととなりますが、身近なクリーニング店でも様々なトラブルが起きています。

《事例1》
婦人礼服をクリーニングに出したところ、上着を紛失された。礼服は4年前に4万円で購入したが、2回しか着ておらず新品同様だ。店は弁償額は1万円だと言うが納得できない。

《事例2》
息子のコートをクリーニングに出したら、全体的に色落ちして仕上がってきた。クリーニング店に申し出て、メーカーに原因を調べてもらったが、経年劣化によるものとの

判断だったと言う。コート代の弁償とクリーニング代の返金を求めたい。

《処理結果》
(50代女性)

《事例1》は、業界団体が定めているクリーニング事故賠償基準に沿って賠償額約1万8千円が支払われました。《事例2》は、経年劣化によるものとのメーカーの見解は変わらず、クリーニング代の返金で解決となりました。

《アドバイス》
クリーニング店トラブルは、責任の所在がクリーニング業者や製品メーカーにある場合、賠償を求めることができます。しかし、事業者と消費者の間で責任の所在をめぐりトラブルになると、解決が難しくなります。

以下の5点に注意して、クリーニングを上手に利用しましょう。

- ① 出す前にポケットの中は空にして、特殊なボタンや装飾品は取り外す。
- ② 受付時に洗濯物の状態を見て、最適なクリーニング方法を提案してくれる店を利用する。
- ③ シミや気になる汚れは申し出る。
- ④ 受け取ったらすぐに仕上がり品を確認し、納得できない場合はなるべく早く申し出る。
- ⑤ ポリカバーは外す。最近ではインターネットで申し込みをし、配送業者が受け渡しをする営業形態もありますが、受付時の確認が目の前で行なわれないことや業者との連絡が取りづらいことがトラブルの解決を難しくしています。クリーニング店は信頼できる業者を選ぶようにしましょう。また、衣類購入時には、デザインだけでなく、タグなどにある洗濯表示にも目を向けましょう。

食品加熱時の突沸に注意!

コーヒーや豆乳、みそ汁などの飲み物を加熱した場合、急激に沸騰がおこり、中身が飛び散る「突沸」という現象が起こることがあります。消費者や医療機関ネットワークから、「突沸」によりやけどを負ったという情報が寄せられています。

1. 電子レンジで飲み物を温める場合は、温めすぎないようにしましょう。
2. 電子レンジで誤って飲み物を温め過ぎてしまった場合、突沸を避けるため、加熱が終了しても容器をすぐに取り出さず、扉を開けないで1～2分冷ましましょう。
3. ガスコンロやIHクッキングヒーターを使って液体を温め直すときは、火力を弱めにし、かき混ぜながら行いましょう。

(2014年12月4日：国民生活センター公表)

消費生活センターの催し

暮らしに役立つテスト教室「石けんを作ってみよう！」

日時：2月3日(火) 10:00～12:00

対象：市内在住、在勤、在学の方 定員：16人 費用：100円

申込方法：1月13日(火)～26日(月)に電話で町田市イベントダイヤル

(☎042-724-5656、年中無休、午前7時～午後11時)へ。

保育(1歳～就学前、人数に限り有)希望の方はあわせてお申込ください。

お問い合わせ：町田市消費生活センター ☎042-725-8805

